

編集後記

石川県立看護大学の平成 25 年度年報をお届けいたします。平成 25 年度で本学は創立 14 年目となり、本学創立とともに歩んできた年報も第 14 巻となりました。大学年報の作成は、本学の教育・研究・地域貢献における客観的な実績を学内外に公表するための貴重な機会となっています。

平成 25 年度は、公立大学法人となった 3 年度目になります。法人本部に対して策定した 6 年間の中期計画のうちの半分が過ぎたこととなります。中期計画の実施と年度ごとの中間評価・年度末評価も受けました。既に平成 24 年度には大学基準協会の審査を受け、平成 25 年（2013 年）3 月 6 日付で同協会が定める大学評価基準を満たしていると認定されました。このように、法人本部・認証機関から様々な評価を受けながら、公立大学法人として、これまで以上にその責務を果たしてきた 1 年となりました。

平成 25 年度の特徴として、以前にも増してより積極的に地域貢献に力を注いだことが挙げられます。平成 22 年には開学 10 周年を機に、本学が所在する石川県かほく市と本学との間に包括的連携協定が締結されました。このような状況を踏まえて、一昨年からの年報から新たに、「9. 看護キャリア支援センター」、「11. 大学間連携共同教育推進事業」を項目立てしました。地域貢献の具体的な内容は本文をお読みいただければと思います。国際交流としては、夏期アメリカ看護研修、ワシントン大学との交流、JICA の中央アジア・コーカサス混成青年研修及び日系研修などを行いました。

他にも、様々な学事や教職員の活動を報告しております。年報を執筆することで、教職員は各々の立場で本年度の活動を振りかえり、自己評価し、次年度に向けてさらなる精進を目指す良い機会となります。

本誌の編集にあたり各委員会、附属地域ケア総合センター、附属図書館、附属看護キャリア支援センターの皆様から多大なご協力を頂きましたことにお礼を申し上げます。実質的な作業を担った岩城直子委員、川端京子委員、山崎正志委員の労をねぎらいたと思います。皆さまのご協力に感謝申し上げます。

2014 年 7 月吉日 自己点検評価委員会 大木秀一